

学認LMS（仮称）による RDMオンライン講座の運用に向けて

試験運用の実施について

2019年5月29日（水）

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
尾城 孝一

趣旨

- 国立情報学研究所が開発中の新学習管理システム（仮称「学認LMS」）の正式運用に先立ち、複数の協力機関に対して、研究データ管理に関するオンライン教材の利用環境を提供し、新システムの機能、教材コンテンツ、運用方式等について検証し、正式運用に向けて、システムや教材コンテンツの改善に資する。
- 本試験運用は、オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の協力を得て、実施する。

試験運用プロジェクト

JPCOAR研究データ作業部会 + NII

参加機関

プロジェクト運営 チーム

- ・試験運用プロジェクトの管理・運営
- ・教材コンテンツの整備
- ・学認LMSの整備
- ・機関管理者との連絡・調整

機関管理者

- ・プロジェクト運営チームとの連絡・調整
- ・機関内の学認IdP管理者との調整
- ・機関内の受講者対応
 - ・講座の案内、募集、質問対応
- ・学習状況の確認、ログ分析
- ・機関内での検証・評価のとりまとめ

教材

学認LMS



受講者

- ・図書館員
- ・研究支援職 (URA等)
- ・ICT技術職員
- ・研究者、教員、学生

受講者

- ・講座を受講
- ・LMSや教材の評価に協力

受講者

提供する教材（コース）

「オープンサイエンス時代の研究データ管理」

「研究データ管理サービスの設計と実践」

『オープンサイエンス時代の研究データ管理』

- 学習者が研究データ管理に関する基礎的な知識を習得するための教材
- 研究データ管理サービス構築の足掛かりを得る



- JPCOARサイトにてスライド公開（2017年6月）
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000023/>
- JMOOC/gaccoで開講（2017年11月～2018年1月）
- 講義動画はNIIサイトで公開
<https://www.nii.ac.jp/service/jmooc/rdm/>

『研究データ管理サービスの設計と実践』

- 研究支援職員（図書館員、研究支援職員（URA）、技術スタッフ等）のための教材
- 研究プロセス（研究前、研究中、研究後）に沿って、具体的なサービスの設計と実践について学ぶ



- JPCOARサイトにてスライド公開（2018年8月）
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000107/>
- 試用プロジェクト（2018年8月27日～10月12日）

参加機関の要件

1. オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の参加機関であること
2. 学術認証フェデレーション「学認（GakuNin）」に参加し、IdPを構築していること

検証すべき事項

- 学認LMS（仮称）に関すること
- 教材コンテンツに関すること
- 講座の機関運用に関すること

機関内における組織的な研究データ管理支援
体制のあり方について考える契機

スケジュール (案)

2019年6月から	参加機関募集
2019年8月上旬	機関管理者向けの説明会
2019年8月下旬～	試験運用開始
2019年12月中旬	報告会
2019年1月～3月	正式運用に向けての準備
2020年4月から	正式運用開始 (予定)